

令和6年度 篠ノ井高等学校(全日制)学校評価表

教育目標	①真理と学問を愛し、高い知性と豊かな教養を身につけた人の育成
	②進歩と向上を信じ、小成に甘んぜず、絶えず理想をめざす人の育成
	③精神と身体を鍛え、明朗で積極性のある人の育成
	④自主と自律を尊び、常に計画性を持ち、節度のある人の育成
	⑤勤労と責任を重んじ、堅実にして協調性のある人の育成

中期目標	①自主性・責任感を育てる
	②授業を中心にして学力の伸長を図る
	③進路目標を明確にさせ、その実現を図る
	④クラブ活動、委員会活動の充実を図る
	⑤様々な活動を通して、生徒のより豊かな心と人間性を育てる

	評価項目	評価の観点	評価の材料	担当分掌	最終評価	評価 A・B・C
今年度の重点目標	①いじめや体罰のない安心・安全な学校作りの推進と開かれた学校づくり	いじめ・体罰の早期発見、早期対応ができたか。	・いじめアンケートの実施と組織での対応	生徒支援係、学年	・日頃より学年会で情報交換をし、学校生活アンケートの結果及び面談週間の個人面談で情報の把握に努めた。(生徒支援係) ・日頃より学年会で情報の交換・共有を図り、学校生活アンケートの結果及び面談週間の個人面談で情報の把握に努めた。(1,3学年)	A
		人権意識の高揚に努めたか。	・人権教育映画鑑賞、職員人権研修会の開催	人権道徳教育・視聴覚係	・10月職員対象に「高校におけるチーム支援」をテーマに研修会を実施。11月には生徒向け人権教育として映画「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」を鑑賞。感想からは戦争の元での人権の扱いを知り、生徒自身が人権について深く考えたことが読み取れた。	A
		生徒一人ひとりの情報を共有し、組織的な対応ができたか。	・個々の生徒に対する支援計画の立案、支援会議の開催 ・情報の共有	相談係、学年	生徒の抱えている困難をいち早く察知し、担任・学年団と情報共有することができた。必要な内容は職員会議でも共有し、共通認識を図ることができた。カウンセラーや巡回相談を利用し、保護者への支援等も検討することができた。個別の支援計画に関しては今後必要に応じて作成していく。(相談係) ・授業や個人面談等で情報の把握に努め、学年会で情報の交換・共有を図った。必要に応じて生徒支援・生徒相談等係と連携して対応した。(1,3学年)	A
		交通安全の徹底、特に、自転車事故減少に努めたか。	・交通安全指導、交通事故件数の経年比較	生徒支援係	・自転車事故は6件で、昨年度に比べて急減した。今年度はスクエアドストレイト(スタントマンによる実演形式の交通安全教室)を実施し、危険回避、マナーの向上を徹底した。ヘルメットの着用を呼びかけたが一年を通しての着用とはならなかったため、引き続き立ち番等を実施して呼びかけを行いたい。(生徒支援係)	A
	②生徒の健康で健全な基本的な生活習慣の確立支援	生徒の生活習慣の把握に努め、その結果を職員で共有し、個々の生徒の支援を行ったか。	・スタディーサポート、アンケート実施、面談の定期的な実施	進路探究係、学年	・各学年、例年どおり定期的に実施した。(全学年)	A
		スマホ利用に対し、適切な指導ができたか。	・スマホ使用規定作成、徹底 ・研修等の実施 ・保護者の意識醸成	生徒支援係、学年	・安易にスマホを使う生徒が増えてきて、一部に情報モラルに欠ける行動が見られた。一年を通して正しい使い方を指導したい。(生徒支援係) ・教員と生徒が意見交換を行い、校則見直しに向けて一歩動き出すことができた。(生徒支援係) ・スマホ使用規制に関しては家庭との連携の難しさを痛感した。深夜までの使用による生活リズムの乱れ、学習時間の浸食を防がなければならないが、「依存」レベルに到達し医療的ケアが必要になっている者もいると思われる。(2学年)	B
		家庭学習時間の確保に努めたか。	・学習実態調査と結果の分析・改善に向けての検討 ・経年比較 ・教科課題の精選	進路探究係、学年、各教科	・学年の係を中心に分析を行っている。学習習慣の身につけていない者、不十分な者が一定数認められる。学習状況調査を継続して行い生徒の意識改善指導に努めた。また進路講話や進路学習を通して、進路に対する意識の向上を図るとともに、面談等を通して意識の改善を促している。(1,2,3学年) ・学校全体の学習実態調査はスタディーサポートの学習実態調査を用いて行い、学年の係を中心に分析を行った。ベネッセ担当者による分析会(1,2学年毎)を行い各学年生徒の学力、学習状況の把握をした。(進路探究係) ・スマホ問題を解決することにより大幅に改善できると思われる。(2学年) ・面談週間や模試結果を受けての個別面談を実施し相談、アドバイスを行った。(3学年)	A
	③10年後を見据えた主体的協働的な学びの推進と進路実現への取組	自主的・探究的に学ぶ姿勢の育成に努めたか。	・「主体的・対話的で深い学び」の導入 ・キャリア教育への参加状況・進路行事への参加状況 ・探究学習の取り組み状況、探究的行事への参加状況	各教科 学年(進路探究担当) 生徒会	・「地域探究～篠ノ井の街歩き～」「企業探究～16企業出張型フィールドツアー～」「データ分析～修学旅行先観光ポスター～」など生徒が主体的・協働的に学ぶ場を創ることで自分の言葉で語る生徒が増えた。(1学年) ・個人の進路に応じたテーマについて探究し、ポスターセッションを通して探究内容をまとめる力や、プレゼンテーション力を向上させる場を設けた。(2学年) ・進路講話や専門のテキストを使用して進路に対する学習を深めるとともに、インターンシップやフィールドワークを行い、見識と思索を深めた。(3学年)	A B
		職員の研修、スキルアップに努めたか。	・校内授業研修・職員進路研修会・研修会への参加	教頭、教務係、進路探究係	・校内授業研修を5月に1週間設けることで、進路指導や授業の研修とすることができた。11月27日には県教育委員会より主事を招いてICTの研修を行った。(教務係) 進路研修会(前年度入試総括)を5月に実施。2月には共通テスト総括の進路研修会を行った。夏休みに小論文・志望理由書の研修会(動画)で実施した(進路探究係)	A
		高大接続改革に向けて必要な資質・能力を身につけさせることができたか。	・高大接続改革の研究・共通テストへの対応状況 ・大学出前講座等の利用、大学アドミッションポリシー等の理解と情報の提供	進路探究係、教務係	共通テスト出願に向けて説明会を実施した。県内のみではあるが、国公立大学の情報・入試の説明会を講師を招いて8、9月に実施した。1、2月に2学年対象に県内全ての国公立大学の説明会を実施した。年内入試が増加しており、その対策も含め大学出前講座や研究室訪問の実施等を検討したい(進路探究係)	A
		「主権者教育」「信州学」を有効に取り入れたか。	・各教科の授業での取り組み ・探究学習、LHRでの取り組み	学年、各教科	・探究で長野県のことを調べた生徒も多かった。(1,2学年)	B
		進路指導方針を共有し教科間連携による効果的な学習指導ができたか。	・補習計画の立案、参加状況・共通テスト受験者数の経年比較 ・授業アンケート、学校アンケートの満足状況・教科間連携の計画 ・大学合格状況、特進講座合格状況	進路探究係、学年、教科	・懇談会期間中および夏休みに補習を実施し、学力の補完・伸長を図った。(1,2学年) ・平日放課後の補習や夏期休業中での補習、特別授業を実施し、学力の補完・伸長を図った。(3学年) ・進路係を中心に全校の協力の下、特編授業を組み、各生徒の進路希望に寄り添った対応が取れるように努めた。(3学年) ・小論文や推薦・総合型での受験者に対して、進路係を中心に全教科の協力の下、個別指導を計画・実施した。(3学年) ・共通テストの受験者数等の経年比較については2月の研修会「共テ総括」で実施。一般選抜の結果は未定だが、総合・学校推薦の合格数は増加した。特進講座の合格状況については一般選抜の結果を含め分析したい(進路探究係)	A
④主体的で対話的なクラブ活動・生徒会活動の充実		自主性と協調性を育てるクラブ活動・生徒会活動の支援ができたか。	・クラブ加入状況・クラブ顧問会での情報交換 ・文化祭への取り組み状況・委員会の活動状況、規範意識の醸成状況	生徒会係、クラブ顧問会	運動部への加入が多く文化部への加入が少ない傾向が見られた。企画がなかなか決まらず、文化祭の準備は大変であったが、生徒たちが自ら考え工夫し、協力し合って取り組むことができた。暑さ対策など、時代の変化に応じた新しい文化祭のあり方について生徒が自ら考えて企画するよう支援できた。全体的に生徒の考えを尊重し、生徒の積極的な活動を支援することができた。(生徒会係)	B
	部活動と学業の両立を支援できたか。	・クラブ指導のあり方、クラブ活動の総時間数検討 ・学校アンケートへの意見の状況		学業に支障のないように、部活動の日数や時間など配慮している。今後、部活動のあり方について検討を続けていく必要がある。(生徒会係)	B	
⑤地域や外部機関との連携推進と取組の発信	地域への情報発信に努め、地域行事への参加や地域人材の活用を推進したか	・地域行事への参加、地域人材の活用状況 ・中学生の公開授業への参加状況、中学校への説明会実施	教務係、生徒会係、PTA同窓会係、各教科	・授業公開では、5月(参加者336名)と10月(参加者159名)の2回実施し、地域の方を含み5月は昨年度より多くの方に来場していただいた。また、8月の体験入学では407名の参加があり、多くの中学生とその保護者に見学していただいた。また、教頭先生を中心に将来像検討委員で手分けして近隣を含む13中学校へ訪問し、本校の良い面をアピールすることができた。(教務係) ・文化祭では広く一般公開を行い、保護者や中学生、近隣の方など約2600人の来校があった。また、生徒が地域の懇談会やイベントのボランティアに参加するなど、地域と深く関わることができている。(生徒会係) ・PTA加入について、同意を求める文書を新入生保護者に配布し、全家庭の協力(加入)が得られた。(PTA同窓会係)	B	